

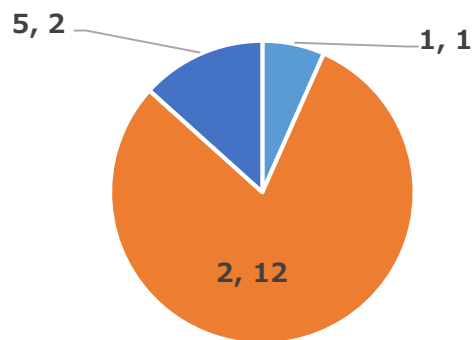
■ 与謝野町事務事業評価アンケート結果（評価者編） ■

回答者 15 人

その 1 事務事業評価への参加について

【設問】（1）事務事業評価二次評価に参加してよかったですか？以下の選択肢にひとつ○をしてください。

- い。
- 1 とてもよかった 1 人
 - 2 よかった 12 人
 - 3 あまりよくなかった 0 人
 - 4 よくなかった 0 人
 - 5 どちらとも言えない 2 人



【回答に対する意見】

○とてもよかった/よかった

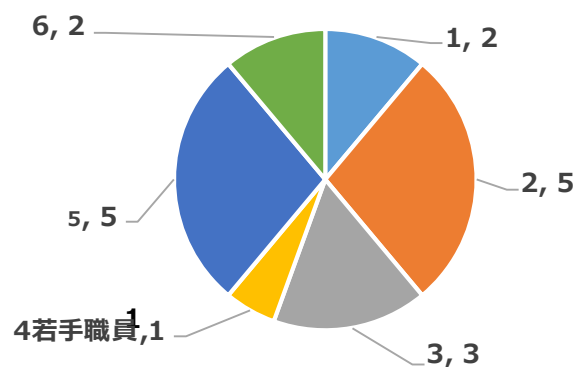
- 知らなかった事業について勉強ができたから。
- 評価した事業の内容について、勉強できたから。
- 他課の業務内容を知ることができたため。
- 事業の内容を理解することができた。
- 適切な指摘・助言・評価をされていたことに共感でき、勉強になった。
- 事務事業評価が評価者の資質向上の一環となっていると思える。

○どちらとも言えない

- 他課の事業を知れて良かったが、事業評価では調整修正までで、事業を削除するなどは1時間程度初めて聞いたくらいではできないと思います。

【設問】（2）今年度は課長補佐・主幹を中心に評価者として参加いただきました。次年度はどのようなメンバー構成が望ましいですか。以下の選択肢にひとつ○をしてください。

- 1 管理職 2 人
- 2 課長補佐・主幹 5 人
- 3 係長・主任 3 人
- 4 若手職員（20代、30代） 1 人
- 5 各職階のミックスチーム 5 人
- 6 その他 2 人



【回答に対する意見】

○管理職

➢ 事務事業評価の評価ができる役職の方、または第 3 者の目線から事業を見れる方。

○課長補佐・主幹

➢ 評価レベルをある程度確保しなくては、甘い評価結果になるため。

➢ 全てにおいて町全体の事業の方向性を一番理解する年代であり、次期課長の登竜門。

○係長・主任

➢ ある程度役場内のことを熟知し、意見も言え、そこそこ若い世代が適切であると思います。

○各職階のミックスチーム

➢ 幅広い年代で評価した方がいいと思います。

➢ 他課の事業内容、進め方等が確認できたので

➢ 若い職員は、他課の事業を知る機会だから。

➢ それぞれの考えを知ることができ刺激があること、それにより理解と内容が深くなる。

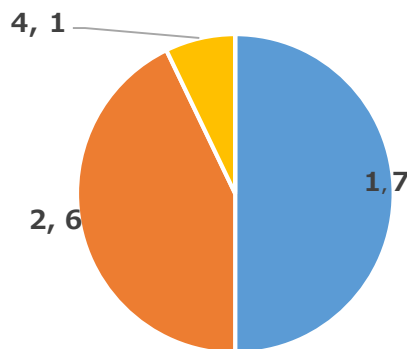
○その他

➢ 事務事業評価の評価ができる役職の方、または第 3 者の目線から事業を見れる方。

その 2 事務事業評価の内容について

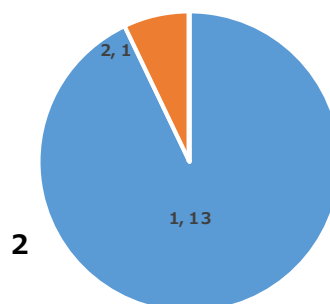
【設問】(1) 1 つの事務事業に対して評価の時間(約 40 分)は適切でしたか? 以下の選択肢にひとつ〇をしてください。

- 1 適切だった 7 人
- 2 やや長く感じた 6 人
- 3 とても長く感じた 0 人
- 4 短く感じた 1 人
- 5 とても短く感じた 0 人



【設問】(2) 全体を通して説明者と十分な意見交換ができましたか?

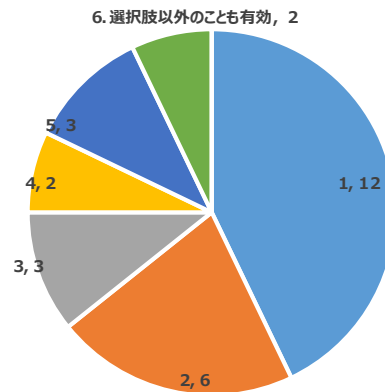
- 1 できた(概ねできた) 13 人
- 2 できなかった事業もあった 1 人
- 3 全体的にできなかった 0 人



その3 事務事業評価の有効性について

【設問】（1） 事務事業評価は有効だと思いましたが？有効で今後も力点を置くべきと思うことを以下の選択肢から選んで○をしてください（複数回答可）

- 1 職員の意識改革や人材育成として有効 12 人
- 2 将来的な業務の負担軽減に有効 6 人
- 3 コストの削減に有効 3 人
- 4 今後の政策形成に有効 2 人
- 5 事務事業のPDCA サイクルに有効 3 人
- 6 選択肢以外のことにも有効 2 人
- 7 有効なことではない 0 人



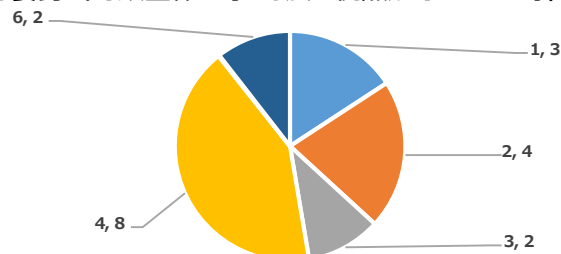
【回答に対する意見】

○6 選択肢以外のことにも有効での意見

- 業務改善（質の向上）に有効。
- 事業の振り返りになる。説明者は説明能力の向上の勉強。評価者は質疑能力向上の勉強。

【設問】（2） 事務事業評価に参加して、身についたことはありますか？以下の選択肢に○をしてください（複数回答可）

- 1 政策・事業の形成についての考え方（目的や成果指標の考え方が身についた等） 3 人
- 2 既存事業の必要性についての考え方（優先度や判断の基準が身についた等） 4 人
- 3 コスト意識や効率性についての考え方 2 人
- 4 担当部署を超えて自分ごととして考える姿勢（町政全体を考える広い視点が身についた等） 8 人
- 5 選択肢以外のこと 0 人
- 6 特に身についたことはない 2 人



その4 次年度以降の改善点・意見

【設問】（1） 次年度に改善すべき点等があれば教えてください。

- 職員による評価だと廃止、縮小などの評価がしづらく、現状維持の評価になりがち。
- 事業の大幅な改善や削除など大鎌を振るうのは当該課長や理事者であり、いち職員では難しいため、不要や削除は別口で管理職以上で議論をしていただきたいと思います。

- 義務型の事業については評価から外してもいいのではないのでしょうか。
- 全事業ではなく事務事業評価の対象とするべき事業を選別する必要があると思います。
- 全事業についてする必要はなく、義務的なものや庁舎管理的な事業は必要ないと思います。
- 事業を把握している職員が説明にくるのがよいと思う。今回一つの事業で、担当職員が事務内容を把握しておらず、後日に持ち越した事業があった。
- 二次評価対象事業の絞り込み（義務的な事業は不要等）3年1サイクルでよいか。
- 評価シート（一次評価）の記入レベルが課によって、担当によってバラバラであり、事務事業評価の臨む姿勢が問われており、改めて認識を深めさせる必要がある。
- 評価後の判断を原課に委ねるだけでは、過去と何ら変わらない。

【設問】（2）事務事業評価に関するご意見・感想がありましたらご記入ください。

- 事務事業を実施することで、業務を改善等の意識改革につなげようとしている担当者が多くいると実感できたことは評価員となってよかった。また、企画財政としては、多くの職員が携わっていることから、事務事業評価の有効性について定量的に評価をして、職員に公表すべき。
- 職員による評価だと廃止、縮小などの評価がしづらく、現状維持の評価になりがち。
- あらかじめ決められた事業、時間に関係なく短時間で効率的に進められたことがよかった。
- コスト削減や業務の負担軽減、いわゆる効率性を見出す目的があったはず。どの事業も必要だからやっているわけで大鉈を振るうことを具体的にすべき。また評価後の改革を担当課だけでさせるのではなく、総合的に取り組む仕組みづくりが必要。
- 職員内でやらされ感、事務負担感が多くある。業務改善ツールとして機能させるためには、事務事業評価をやったことによる成果を企画財政課で整理し共有すること、評価をどう反映したか PDCA サイクルをしっかりと構築する必要がある。3年1サイクルが終わったので今がチャンスです。
- 第2ステージとしての見せ方（進め方）を整理する必要がある。

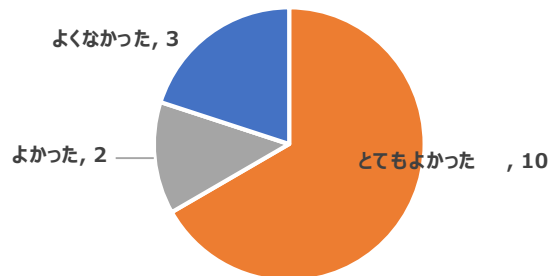
■ 与謝野町事務事業評価アンケート結果（説明者編） ■

回答者 15 人

その1 事務事業評価の参加について

【設問】（1） 事務事業評価二次評価に参加してよかったですか？以下の選択肢にひとつ○をしてください。

- 1 とてもよかった 0人
- 2 よかった 10人
- 3 あまりよくなかった 2人
- 4 よくなかった 0人
- 5 どちらとも言えない 3人



【回答に対する意見】

○よかった、とてもよかった

- 職員とは違う視点で、厳しい指摘を聴くことができよかった。職員以外の見方考え方を知る機会となった。
- 評価チームの方と意見交流ができ、事業について改めて考えるきっかけになりました。
- さまざまな視点から事業の課題、方向性について議論できた。
- 実施事業の再確認ができたため。
- 他課の状況も聞く事が出来た事や福祉課の事業が細分化している量が多い事などを知る機会になった。
- 今やっている事業の基本である目的を振り返ることができたので、よかったと思います。
- 福祉課に異動して1年目だったので、自分自身が制度を理解するうえで有益であった。

○あまりよくなかった

- 時間に余裕をもって、日程を組んでいただきたい。
- 手間がかかる

○どちらとも言えない

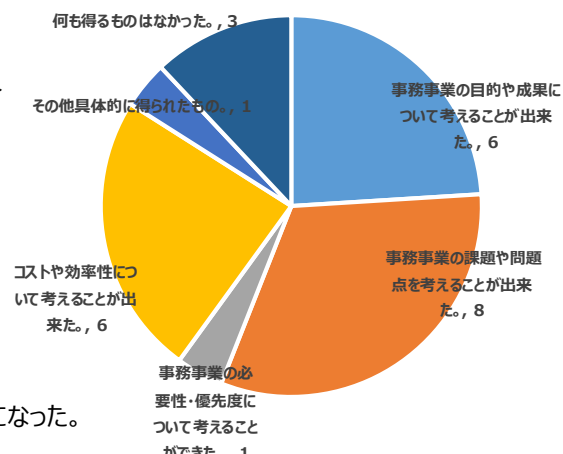
- 審査対象が農村文化保存伝習センターでしたので、特に何もありません。といいますか、あの施設の将来のことは、担当として十分に検討していると自負していますので、その説明、という感じでした。また、文化財

施設ですので、それに対応できるスキルは、他の職員には、おそらく、ナイ、と思います。

➤義務的事業について審査いただいても、状況認識が少ない中での意見が多く、参考にならないと思えた。

【設問】（２） 事務事業評価二次評価に参加して得られたことはありましたか？（複数回答可）

- 1 事務事業の目的や成果について考えることが出来た。 6 人
- 2 事務事業の課題や問題点を考えることが出来た。 8 人
- 3 事務事業の必要性・優先度について考えることができた。 1 人
- 4 コストや効率性について考えることが出来た。 6 人
- 5 その他具体的に得られたもの。 1 人
- 6 何も得るものはなかった。 3 人



※5の内容

➤障害福祉分野の細事業の多さを改めて実感すると共に、令和4年度へ向けての事業・細事業の見直しに大いに参考になった。

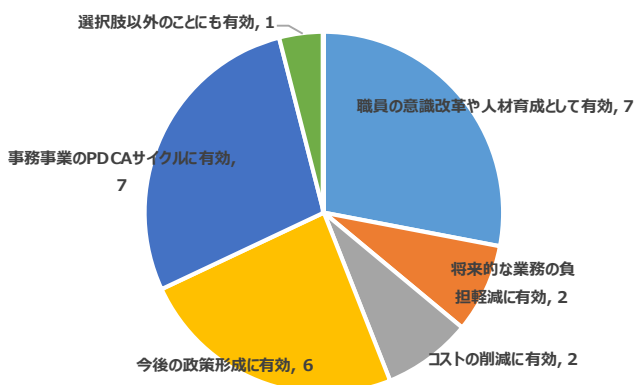
※その他意見

- 職員を含め、文化財を保存・活用を周知するのが業務ですので、その点は良い機会でした。
- 事務事業評価は得るものも多いと思うが、無駄も多いと思う
- 事業件数の多さを実感しました。

その2 事務事業評価の有効性について

【設問】（１） 事務事業評価は行財政経営マネジメントにとって有効だと思いませんか？以下の選択肢に○をしてください（複数回答可）

- 1 職員の意識改革や人材育成として有効 7 人
- 2 将来的な業務の負担軽減に有効 2 人
- 3 コストの削減に有効 2 人
- 4 今後の政策形成に有効 6 人
- 5 事務事業のPDCAサイクルに有効 7 人
- 6 選択肢以外のことにも有効 1 人
- 7 まったく有効なことではない 0 人



【回答に対する意見】

- 一般論ですが、他の業務を直接聞くことで、視野が広がる。そのことが町政に反映される機会になる。
- 外部の意見は貴重であり今後の政策形成に有効だと考える。

- 目の前の仕事だけでなく、他課の状況やまとめる等効率的に実施してもよい事を経験上知る事で業務に活かせると感じたら。
- 現状を振り返る機会を作ることで、少し立ち止まって考えることができる。ただ、対象事業数が多いと立ち止まることも困難と感じました。

その3 次年度以降の改善点・ご意見

【設問】（1）次年度に改善すべき点等があれば教えてください。

- 全事業ではなく事務事業評価の対象とするべき事業を選別する必要があると思います。
- 段階的なコスト削減取り組む。
- 新規事業について、最初に評価を入れるタイミングは大切。始まって間なしの事業について、早いタイミングで事務事業評価の対象事業としても、正しい評価に至らないことがあるのではないかな。
- 行革委員の指摘は的を射ていると思うが、机上の空論になりがち行革委員に評価してもらおう事業の選定については疑問を感じる
- 義務的的事业は除外して、町民視点を取り入れるべき事業に限定できないか。
- 初めての場でしたのでどのような形で進むのが理解できておらず、うまく説明ができなくて申し訳ありません。
- 3年度周期の中で、担当係が偏らないように配分して貰いたいと思います。
- 義務型の事業評価は、Cチーム（行革委員）以外によってしたほうがいいのではないかな。義務型は国の法令に則って行うため、市町村の裁量がなく、行革委員に評価いただく必要性は低いと考える。
また、複数の事業を、ひとつにまとめて評価いただくことも避けた方がいいのではないかな。今回、他課と同時評価をしていただいたが、事業内容や説明に混乱があったと思われる。
- 外部委員さんの評価を受ける事業については、国必須事業ではない方が、より多くの議論ができるのではないかなと感じました。
- 二次評価を受けるにあたり、障害者福祉分野の数が多すぎて、かなりの事務負担になった。3年に1度のサイクルになっていたと思うが、一年度に二次評価が集中しないようにして欲しかったと思います。
義務的な事業については、一次評価のみで二次評価（外部評価）まで必要がないような気がします。

【設問】（2）事務事業評価に関するご意見・感想がありましたらご記入ください。

- 実施後3年以内の事業は、評価するには早すぎると感じます。
- どの事務事業評価も、事業見直し、コスト削減に有効であるものの、事務事業評価にむかない事業も確実にあると感じた。（半面、事務事業評価にむかないからと、やり方を見直すことを考えないままであつたら、事務事業の発展はないため、決まりきったと思える事業にも評価を入れることの意味を考えることができた。）
- 事務事業評価が財政削減を伴う行革にどう連動していくのかが見えてこない（スピード感がない）
Bチームに両参事が参加され、より幅広い観点から意見や指摘をもらえたことは良かった
R2の決算において、財調は減少したが、起債額も減少したことに財政の努力を感じており、今後も、

行財政改革と前向きな町づくり施策の推進の両立に取り組んできたい

- 職員の削減が進む中で、負担増が顕著となっている。事業評価は当然必要なプロセスであるが、方法等改善の余地があると思う。
- 事業について外部の方から意見を頂戴できる機会はありがたいと思いますが、具体的な質問を事前に頂けたほうがスムーズだったかなと思います。
- 事務事業評価を実施したことによる効果を公表してほしい。
- 事務事業評価の事務の負担が大きい。以前に「事務事業評価によって事務負担が減る」と説明を受けたが、以前よりも負担が増えている。事務事業評価は必要だと思うが、全事業で評価が必要か検討すべきではないか。
- 個人の意見では廃止でもよいのではと思う事業でも課として存続すべき理由を共有・協議する事ができるには良いと思います。ただ準備にあたる事務時間はかなり必要でした。慣れの問題でしょうか？